

とけいをつくってよんでみよう

単 元	とけい	対象学年	1 年
ね ら い	時計に関心をもち、実際の生活と関連付けて、場面ごとの時刻をよんだり、時計で表したりすることができるようにする。		

1 準備するもの

教師：日常生活のイラスト、時計のイラスト

2 学習のしかた

(1) 時計のよみ方を知り、練習する。

(2) 日常生活のイラストに適した時刻を指した時計の絵をさがす。

① イラストを1つずつ見せ、その場面が何時位か予想する。

② イラストの時刻を伝える。

③ イラストに適した図を選び、イラストの下にはる。

④ 同じ6時でも2通りあることに気づかせる場面をもち、「午前」「午後」についてふれる。



3 学習上の留意点

- 日常生活と時計がつながるように、授業の中で繰り返し時刻とイラストを結びつける活動を行う。
- 算数セットの中にある時計を使って、日常生活をつなげながら時刻を作る活動を多く取り入れる。
- イラストに合った時計の図を選ぶときには、1つ例を示してから考えさせるとよい。

4 学習の効果

- 時計をひとりの力でよんだり、つくったりすることができているか確かめることができる。
- 日頃の生活との関連を重視することにより、日常的に時計を読もうとする意欲付けにつながる。

5 参考資料

- 学習プリント（次頁）